

日本生物学的精神医学会 2020 年度「若手国際交流プログラム」公募のご案内

尾崎 紀夫 (理事長)

**日本生物学的精神医学会 2020 年度
「若手国際交流プログラム」公募のご案内**日本生物学的精神医学会
理事長 尾崎 紀夫

本年度も昨年度に引き続き、韓国、台湾、香港の各生物学的精神医学会に参加して研究発表をする若手研究者を公募いたします。会員の皆様におかれましては、本プログラムの趣旨をご理解の上、多数ご応募いただきますようご案内申し上げます。

趣 旨：本学会は、アジア地域における精神医学領域の研究の発展と交流を促進するために、韓国、台湾、香港の各生物学的精神医学会との間に「若手交流プログラム」を締結いたしました。この取り決めに基づいて、日本と韓国、日本と台湾、日本と香港の各生物学的精神医学会は、それぞれの年次学術集会上に若手研究者2名以内をお互いに招聘することになっております。日本生物学的精神医学会には韓国、台湾、香港の各生物学的精神医学会からそれぞれ若手研究者が来日し研究発表をすることを予定しておりますが、これに対応する形で、韓国、台湾、香港の各生物学的精神医学会に参加して研究発表をしていただくために若手研究者を派遣するものです。
応募資格：申請日現在に40歳以下の本学会会員である

こと。

応募方法：次の書類を日本生物学的精神医学会国際交流委員長 (jsbp@asas-mail.jp) 宛に Email 添付でご提出下さい。

1) 応募用紙 (書式不問・以下 A～H 全てを記載)

A. 氏名, B. 申請時の年齢, C. 所属, D. 連絡先, E. 派遣希望国, F. 応募の背景と理由 400 字以内, G. 英文発表予定演題名, H. アブストラクト 300 words 以内)

2) 履歴書および業績目録 (書式不問)

応募期限：各国 BP 学会の年次学術集会上の3か月前 (日程は各学会にご確認下さい。)

募集人員：本年度は、韓国、台湾、香港への各最大2名で合計最大6名の派遣を予定しております。

学会日程：韓国、台湾、香港の各学会年次学術集会上の開催日と場所は、各学会に直接ご確認下さい。

賞の内容：選出された若手研究者は、韓国、台湾、あるいは香港の各生物学的精神医学会の学術集会上いずれかに招聘され研究成果を発表するとともに、渡航滞在費として各 USD 1,000 の支給を受ける。

選考方法：会員に対し公募を行い、国際交流委員会にて候補者を選考。

結果通知：派遣者には決定後、本人宛に通知いたします。

以上